

## 2 各 論

### (1) 出 生

#### ア 出生数及び出生率

令和2年の出生数は47,328人で、前年の48,298人より970人減少した。

出生数を年次推移で見ると、昭和48年の106,008人をピークに平成2年まで減少し続け、その後増加と減少を繰り返しながら長期的には減少傾向が続いている。

出生率は人口千人に対し6.6で、前年より0.1ポイント低下した。全国も前年より0.2ポイント低下し、6.8であった。（表-2）

出生率を年次推移で見ると、第2次ベビーブームの昭和46年の24.0以降低下を続け、平成2年に初めて10.0を割り9.9となった。その後平成8年まで10.0を上回る程度で推移していたが、平成9年に再び10.0を割って以降低下傾向であり、令和2年は7.0を割り込んでいる。

出生率を全国と比較すると、本県の出生率は平成3年以降、わずかながら全国を上回る状態であった。しかし、平成20年以降は、同率だった平成21年を除き、全国を下回っている。（図-1）

なお、昭和41年にみられる出生率の低下は、丙午（ひのえうま）によるものである。

表-2 出生数及び出生率の年次推移

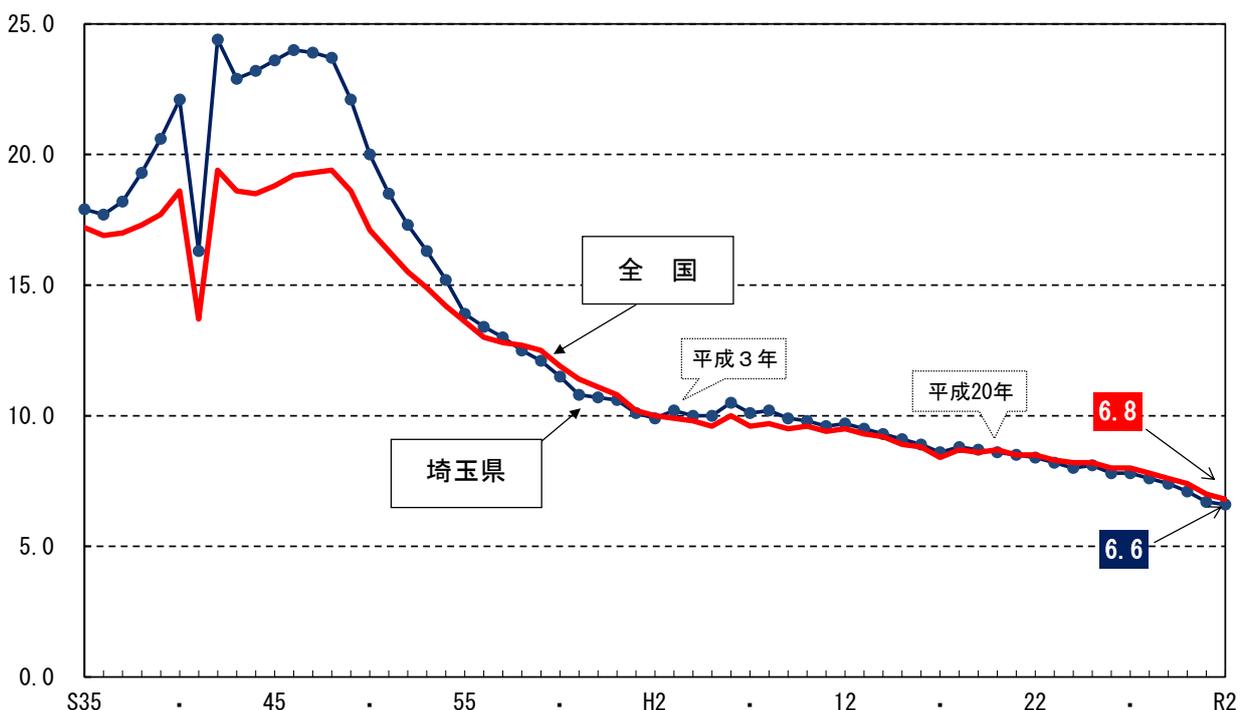
		S35	40	45	50	55	60	H2	7
数	埼玉県	43 421	66 585	91 113	96 033	75 090	67 260	63 299	67 750
	全 国	1 606 041	1 823 697	1 934 239	1 901 440	1 576 889	1 431 577	1 221 585	1 187 064
率	埼玉県	17.9	22.1	23.6	20.0	13.9	11.5	9.9	10.1
	全 国	17.2	18.6	18.8	17.1	13.6	11.9	10.0	9.6

		12	17	22	27	29	30	R元	2
数	埼玉県	66 376	59 731	59 437	56 078	53 076	51 241	48 298	47 328
	全 国	1 190 547	1 062 530	1 071 305	1 005 721	946 146	918 400	865 239	840 835
率	埼玉県	9.7	8.6	8.4	7.8	7.4	7.1	6.7	6.6
	全 国	9.5	8.4	8.5	8.0	7.6	7.4	7.0	6.8

注：率は人口千対である。

図-1 出生率の年次推移（埼玉県・全国）  
出生率（人口千対）



## イ 都道府県別にみた出生率

都道府県別にみると、本県は、昭和49年から昭和52年までは、高率順で沖縄県に次いで第2位であった。しかし、昭和53年以降順位を落とし昭和61年には41位まで下がった。その後、平成7年には4位となったものの、平成25年から平成28年は23位、平成29年は22位、平成30年及び令和元年は23位、令和2年は21位と、近年、横ばいの状況が続いている。（表－3）

表－3 都道府県別にみた出生率

	S60			H2			7			12			17		
	都道府県	率	順位												
高率順	全 国	11.9		全 国	10.0		全 国	9.6		全 国	9.5		全 国	8.4	
	沖 縄	17.6	1	沖 縄	14.0	1	沖 縄	13.2	1	沖 縄	12.8	1	沖 縄	11.9	1
	福 島	13.3	2	滋 賀	11.2	2	愛 知	10.6	2	愛 知	10.8	2	滋 賀	9.5	2
	佐 賀	13.1	3	佐 賀	10.9	3	滋 賀	10.5	3	滋 賀	10.6	3	愛 知	9.4	3
	宮 城	12.9	4	福 島	10.8	4	埼 玉	10.1	4	大 阪	10.2	4	福 井	8.8	4
	宮 崎	12.9	5	愛 知	10.7	5	山 梨	10.1	5	佐 賀	10.0	5	大 阪	8.8	5
	鹿 児 島	12.7	6	長 崎	10.6	6	福 井	10.1	6	兵 庫	10.0	6	神 奈 川	8.8	6
	滋 賀	12.7	7	福 井	10.6	7	福 島	10.0	7	神 奈 川	9.9	7	栃 木	8.7	7
	長 崎	12.7	8	鹿 児 島	10.5	8	大 阪	10.0	8	岡 山	9.8	8	佐 賀	8.7	8
	栃 木	12.7	9	鳥 取	10.4	9	宮 崎	10.0	9	福 井	9.8	9	広 島	8.7	9
	熊 本	12.6	10	宮 城	10.4	10	神 奈 川	9.9	10	福 石	9.8	10	福 岡	8.7	10
	埼 玉	11.5	34	埼 玉	9.9	29				埼 玉	9.7	15	埼 玉	8.6	18
低率順	富 山	10.7	1	高 知	8.7	1	秋 田	8.2	1	秋 田	7.6	1	秋 田	6.7	1
	東 京	10.7	2	山 口	8.8	2	東 京	8.4	2	北 海 道	8.2	2	徳 島	7.3	2
	秋 田	10.9	3	東 京	8.9	3	高 知	8.5	3	高 知	8.4	3	青 森	7.3	3
	高 知	11.1	4	秋 田	9.0	4	山 口	8.6	4	東 京	8.5	4	北 海 道	7.4	4
	京 都	11.1	5	富 山	9.0	5	島 根	8.8	5	島 根	8.6	5	高 知	7.5	5

	22			27			30			R元			2		
	都道府県	率	順位												
高率順	全 国	8.5		全 国	8.0		全 国	7.4		全 国	7.0		全 国	6.8	
	沖 縄	12.3	1	沖 縄	11.9	1	沖 縄	11.0	1	沖 縄	10.4	1	沖 縄	10.3	1
	愛 知	9.6	2	滋 賀	9.1	2	愛 知	8.4	2	福 岡	7.9	2	沖 縄	7.7	2
	滋 賀	9.6	3	愛 知	9.0	3	福 岡	8.3	3	愛 知	7.8	3	福 岡	7.6	3
	福 岡	9.3	4	福 岡	9.0	4	熊 本	8.2	4	佐 賀	7.7	4	滋 賀	7.6	4
	広 島	9.0	5	熊 本	8.8	5	滋 賀	8.2	5	熊 本	7.7	5	熊 本	7.6	5
	宮 崎	9.0	6	東 京	8.6	6	鹿 児 島	8.1	6	滋 賀	7.7	6	佐 賀	7.5	6
	佐 賀	9.0	7	鹿 児 島	8.6	7	佐 賀	8.0	7	東 京	7.6	7	東 京	7.4	7
	熊 本	9.0	8	佐 賀	8.5	8	東 京	8.0	8	宮 崎	7.6	8	鹿 児 島	7.4	8
	鹿 児 島	8.9	9	広 島	8.4	9	宮 崎	7.9	9	鹿 児 島	7.5	9	岡 山	7.3	9
	神 奈 川	8.8	10	宮 崎	8.4	10	岡 山	7.7	10	岡 山	7.3	10	宮 崎	7.3	10
	埼 玉	8.4	22	埼 玉	7.8	23	埼 玉	7.1	23	埼 玉	6.7	23	埼 玉	6.6	21
低率順	秋 田	6.2	1	秋 田	5.7	1	秋 田	5.2	1	秋 田	4.9	1	秋 田	4.7	1
	青 森	7.1	2	青 森	6.6	2	岩 手	6.2	2	岩 手	5.7	2	青 森	5.5	2
	高 知	7.2	3	北 海 道	6.8	3	青 森	6.2	3	青 森	5.8	3	岩 手	5.6	3
	北 海 道	7.3	4	岩 手	6.9	4	北 海 道	6.2	4	北 海 道	6.0	4	北 海 道	5.7	4
	岩 手	7.4	5	高 知	7.0	5	山 形	6.4	5	山 形	6.0	5	山 形	5.9	5

注1：率は人口千対である。

注2：順位の算出には、小数点第2位以下を考慮している。

### ウ 市町村別にみた出生率

市町村別にみると、高率順では、和光市（9.2）、戸田市（9.2）、朝霞市（9.1）の順である。

また、低率順では、鳩山町（2.4）、東秩父村（2.6）、ときがわ町（2.7）の順である。（表－4、図－2）

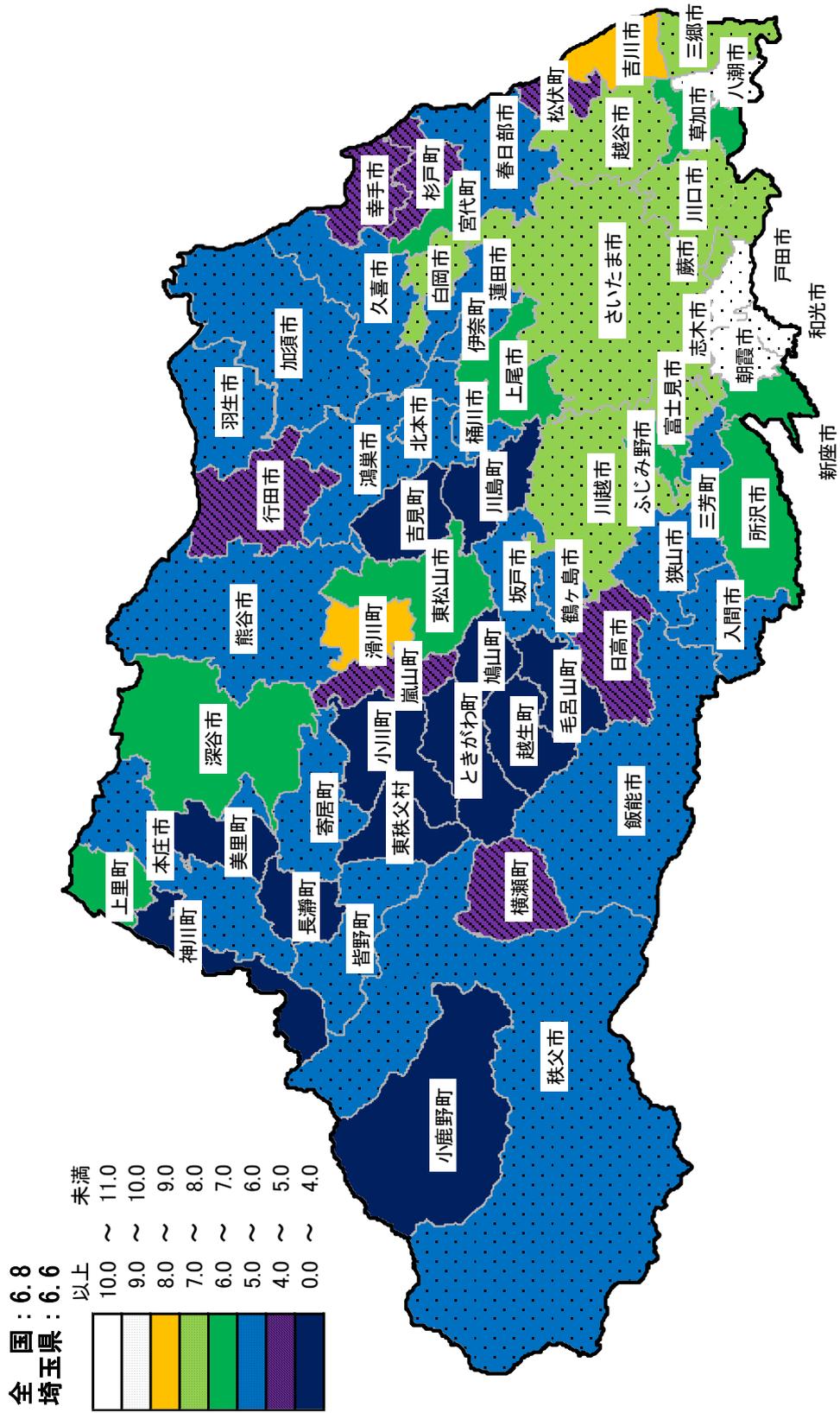
表－4 市町村別にみた出生率（高率順）

埼玉県								
順位	市町村	出生率	順位	市町村	出生率	順位	市町村	出生率
1	和光市	9.2	22	東松山市	6.1	43	加須市	5.0
2	戸田市	9.2	23	草加市	6.1	44	羽生市	5.0
3	朝霞市	9.1	24	上里町	6.0	45	日高市	4.9
4	八潮市	9.1	25	熊谷市	5.9	46	行田市	4.8
5	滑川町	8.8	26	鶴ヶ島市	5.9	47	横瀬町	4.6
6	吉川市	8.3	27	鴻巣市	5.8	48	松伏町	4.5
7	白岡市	7.9	28	蓮田市	5.8	49	幸手市	4.3
8	さいたま市	7.7	29	寄居町	5.7	50	杉戸町	4.1
9	志木市	7.7	30	桶川市	5.7	51	嵐山町	4.1
10	三郷市	7.7	31	久喜市	5.7	52	神川町	3.9
11	富士見市	7.5	32	三芳町	5.7	53	川島町	3.8
12	蕨市	7.3	33	秩父市	5.7	54	越生町	3.8
13	川越市	7.2	34	春日部市	5.6	55	美里町	3.7
14	川口市	7.2	35	北本市	5.6	56	小鹿野町	3.6
15	越谷市	7.1	36	飯能市	5.5	57	吉見町	3.6
16	所沢市	6.9	37	狭山市	5.5	58	長瀬町	3.5
17	ふじみ野市	6.7	38	本庄市	5.5	59	小川町	3.4
18	上尾市	6.6	39	坂戸市	5.4	60	毛呂山町	3.1
19	新座市	6.5	40	伊奈町	5.4	61	ときがわ町	2.7
20	深谷市	6.3	41	皆野町	5.2	62	東秩父村	2.6
21	宮代町	6.2	42	入間市	5.2	63	鳩山町	2.4

注1：率は人口千対である。

注2：順位の算出には、小数点第2位以下を考慮している。

図一-2 出生率(人口千対)一市町村別状況一



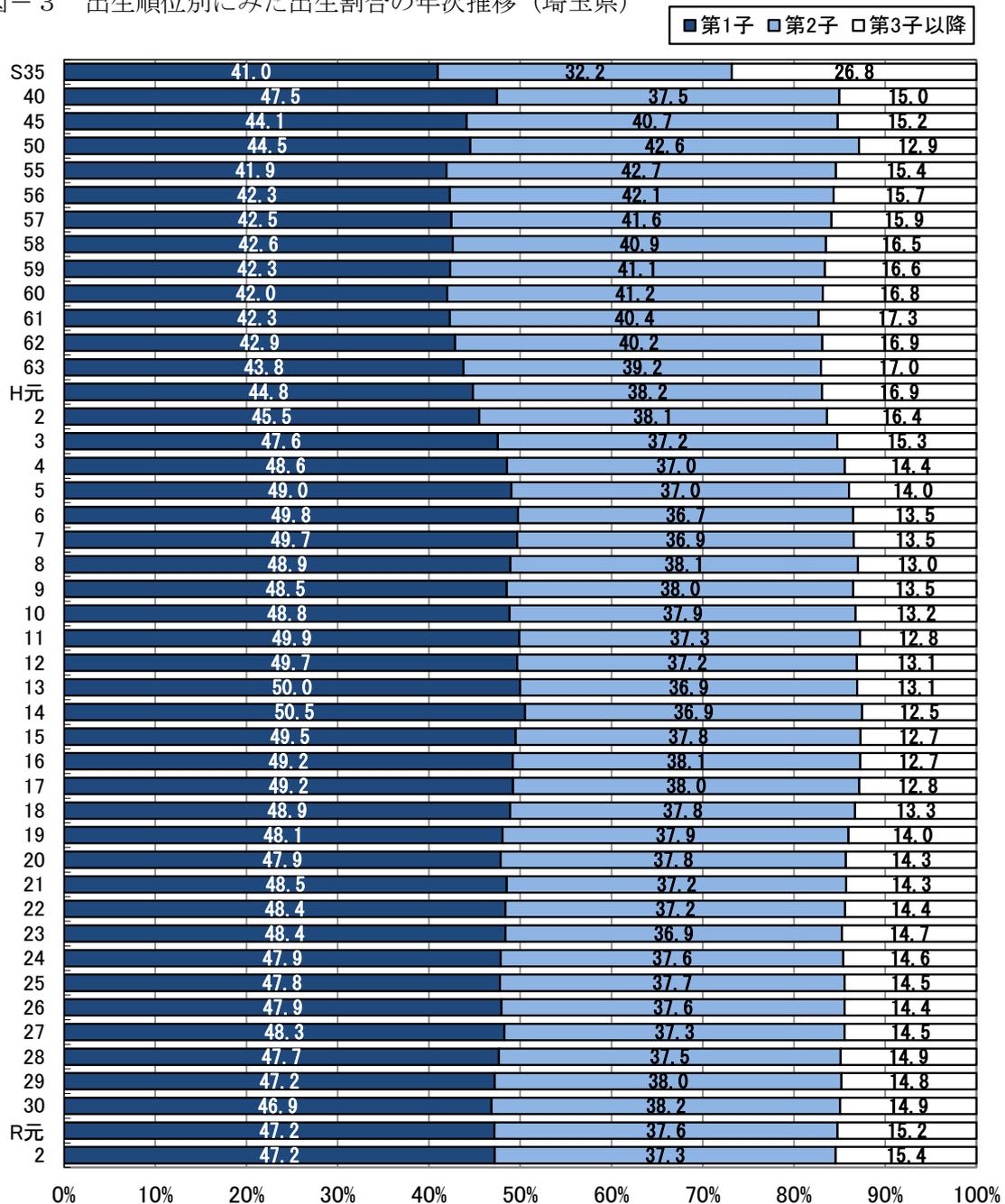
## エ 出生順位別にみた出生の動向

出生順位別に出生数の構成割合の年次推移をみると、第1子の割合は平成14年に50.5%となった後、40%台後半で推移している。令和2年は47.2%となり、前年と同率であった。

また、第2子の割合は昭和55年（42.7%）をピークに、昭和63年以後は30%台後半で推移している。令和2年は37.3%と前年を0.3ポイント下回った。

第3子以降の割合は、昭和35年には26.8%と全体の3割近くを占めていたものの、平成4年以降は10%台前半で推移していた。しかし、令和2年は前年を0.2ポイント上回り15.4%であった。（図－3、表－5）

図－3 出生順位別にみた出生割合の年次推移（埼玉県）



注：昭和40年以前の第3子以降には、出生順位不詳を含む。

表一 5 出生順位別にみた出生数及び構成割合の年次推移

埼玉県

	出 生 数						構 成 割 合					
	総 数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子 以 降	総 数	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子 以 降
							%	%	%	%	%	%
S 35	43 421	17 794	13 987	6 817	2 669	2 154	100.0	41.0	32.2	15.7	6.1	5.0
40	66 585	31 602	24 975	7 438	1 699	871	100.0	47.5	37.5	11.2	2.6	1.3
45	91 113	40 199	37 067	11 411	1 768	668	100.0	44.1	40.7	12.5	1.9	0.7
50	96 033	42 762	40 901	10 521	1 376	473	100.0	44.5	42.6	11.0	1.4	0.5
55	75 090	31 468	32 049	10 060	1 172	341	100.0	41.9	42.7	13.4	1.6	0.5
56	73 917	31 259	31 087	9 962	1 239	370	100.0	42.3	42.1	13.5	1.7	0.5
57	72 689	30 867	30 264	9 936	1 269	353	100.0	42.5	41.6	13.7	1.7	0.5
58	71 144	30 316	29 100	10 066	1 286	376	100.0	42.6	40.9	14.1	1.8	0.5
59	69 556	29 440	28 575	9 914	1 271	356	100.0	42.3	41.1	14.3	1.8	0.5
60	67 260	28 252	27 684	9 749	1 271	304	100.0	42.0	41.2	14.5	1.9	0.5
61	64 392	27 236	26 020	9 533	1 258	345	100.0	42.3	40.4	14.8	2.0	0.5
62	64 496	27 647	25 956	9 347	1 201	345	100.0	42.9	40.2	14.5	1.9	0.5
63	65 396	28 638	25 612	9 512	1 280	354	100.0	43.8	39.2	14.5	2.0	0.5
H 元	63 419	28 431	24 247	9 159	1 269	313	100.0	44.8	38.2	14.4	2.0	0.5
2	63 299	28 806	24 120	8 852	1 234	287	100.0	45.5	38.1	14.0	1.9	0.5
3	65 928	31 353	24 513	8 453	1 313	296	100.0	47.6	37.2	12.8	2.0	0.4
4	65 219	31 674	24 141	7 928	1 154	322	100.0	48.6	37.0	12.2	1.8	0.5
5	66 268	32 499	24 506	7 828	1 137	298	100.0	49.0	37.0	11.8	1.7	0.4
6	69 776	34 714	25 636	7 960	1 169	297	100.0	49.8	36.7	11.4	1.7	0.4
7	67 750	33 651	24 985	7 619	1 229	266	100.0	49.7	36.9	11.2	1.8	0.4
8	68 695	33 612	26 163	7 400	1 229	291	100.0	48.9	38.1	10.8	1.8	0.4
9	67 585	32 803	25 663	7 673	1 146	300	100.0	48.5	38.0	11.4	1.7	0.4
10	67 144	32 796	25 458	7 421	1 145	324	100.0	48.8	37.9	11.1	1.7	0.5
11	65 711	32 800	24 531	7 028	1 050	302	100.0	49.9	37.3	10.7	1.6	0.5
12	66 376	32 976	24 707	7 147	1 240	306	100.0	49.7	37.2	10.8	1.9	0.5
13	65 417	32 698	24 169	7 067	1 159	324	100.0	50.0	36.9	10.8	1.8	0.5
14	64 762	32 721	23 922	6 690	1 089	340	100.0	50.5	36.9	10.3	1.7	0.5
15	63 224	31 303	23 896	6 633	1 083	309	100.0	49.5	37.8	10.5	1.7	0.5
16	61 946	30 465	23 604	6 493	1 095	289	100.0	49.2	38.1	10.5	1.8	0.5
17	59 731	29 389	22 669	6 318	1 012	343	100.0	49.2	38.0	10.6	1.7	0.6
18	61 201	29 931	23 133	6 650	1 156	331	100.0	48.9	37.8	10.9	1.9	0.5
19	60 818	29 232	23 050	6 935	1 222	379	100.0	48.1	37.9	11.4	2.0	0.6
20	60 520	28 959	22 902	7 077	1 229	353	100.0	47.9	37.8	11.7	2.0	0.6
21	59 725	28 989	22 213	6 944	1 192	387	100.0	48.5	37.2	11.6	2.0	0.6
22	59 437	28 748	22 138	6 886	1 289	376	100.0	48.4	37.2	11.6	2.2	0.6
23	58 059	28 081	21 419	6 902	1 255	402	100.0	48.4	36.9	11.9	2.2	0.7
24	56 943	27 253	21 385	6 710	1 230	365	100.0	47.9	37.6	11.8	2.2	0.6
25	57 470	27 463	21 694	6 699	1 221	393	100.0	47.8	37.7	11.7	2.1	0.7
26	55 765	26 732	20 980	6 443	1 229	381	100.0	47.9	37.6	11.6	2.2	0.7
27	<u>56 078</u>	27 071	<u>20 896</u>	6 570	1 156	385	100.0	48.3	37.3	11.7	2.1	0.7
28	<u>54 452</u>	<u>25 950</u>	<u>20 393</u>	6 473	1 206	430	100.0	47.7	37.5	11.9	2.2	0.8
29	<u>53 076</u>	<u>25 057</u>	<u>20 165</u>	<u>6 285</u>	1 169	400	100.0	47.2	38.0	11.8	2.2	0.8
30	51 241	24 013	19 571	6 118	1 152	387	100.0	46.9	38.2	11.9	2.2	0.8
R 元	48 298	22 781	18 157	5 857	1 126	377	100.0	47.2	37.6	12.1	2.3	0.8
2	47 328	22 346	17 674	5 733	1 196	379	100.0	47.2	37.3	12.1	2.5	0.8

注1：昭和40年以前の第3子以降には、出生順位不詳を含む。

注2：厚生労働省が過去数値の再集計結果を公表したことにより、平成29年以前の概況とは数値が一致しない箇所がある。

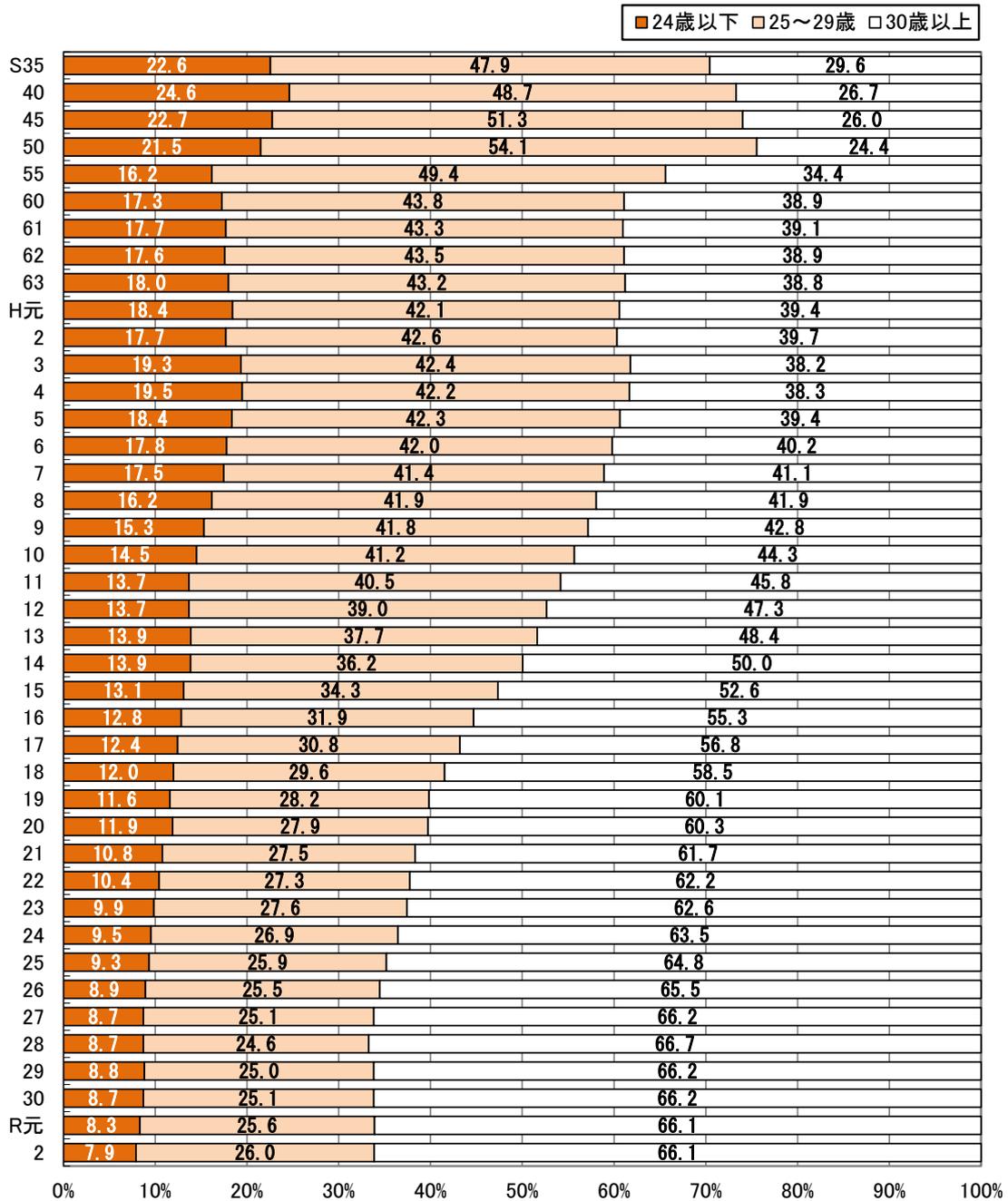
## オ 母の年齢階級別にみた出生の動向

母の年齢階級別に出生数の構成割合をみると、25～29歳の母からの出生は昭和51年の57.0%をピークとして減少傾向にあり、平成19年からはピーク時の2分の1を下回っている。ただし、令和2年は26.0%と前年を0.4ポイント上回った。

また、24歳以下の割合も平成5年以降減少傾向にある。令和2年は7.9%と前年を0.4ポイント下回った。

一方、30歳以上の割合は平成4年以降一貫して増加していたが、平成29年以降はやや減少し、令和2年は66.1%と前年と同率だった。平成19年以降は出生数全体の6割以上を占めている。（図－4、表－6）

図－4 母の年齢階級別にみた出生割合の年次推移（埼玉県）



注：年齢不詳を除く出生数に対する割合である。

表一 6 母の年齢階級別にみた出生数及び構成割合の年次推移

埼玉県

	出 生 数									構 成 割 合							
	総数	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	不詳	総数	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上
										%	%	%	%	%	%	%	%
S 35	43 421	400	9 397	20 787	9 695	2 607	510	25	-	100.0	0.9	21.6	47.9	22.3	6.0	1.2	0.1
40	66 585	689	15 706	32 426	14 633	2 745	367	18	1	100.0	1.0	23.6	48.7	22.0	4.1	0.6	0.0
45	91 113	828	19 894	46 722	19 364	3 895	381	20	9	100.0	0.9	21.8	51.3	21.3	4.3	0.4	0.0
50	96 033	675	19 958	51 928	19 542	3 501	418	11	-	100.0	0.7	20.8	54.1	20.3	3.6	0.4	0.0
55	75 090	700	11 453	37 110	21 768	3 648	394	16	1	100.0	0.9	15.3	49.4	29.0	4.9	0.5	0.0
60	67 260	954	10 664	29 482	20 257	5 422	470	10	1	100.0	1.4	15.9	43.8	30.1	8.1	0.7	0.0
61	64 392	937	10 457	27 848	19 109	5 575	441	20	5	100.0	1.5	16.2	43.3	29.7	8.7	0.7	0.0
62	64 496	969	10 374	28 069	19 077	5 458	530	16	3	100.0	1.5	16.1	43.5	29.6	8.5	0.8	0.0
63	65 396	1 018	10 753	28 253	19 210	5 534	616	9	3	100.0	1.6	16.4	43.2	29.4	8.5	0.9	0.0
H 元	63 419	1 060	10 630	26 726	18 876	5 426	680	19	2	100.0	1.7	16.8	42.1	29.8	8.6	1.1	0.0
2	63 299	1 050	10 163	26 974	18 971	5 353	775	12	1	100.0	1.7	16.1	42.6	30.0	8.5	1.2	0.0
3	65 928	1 124	11 630	27 973	19 092	5 331	750	19	9	100.0	1.7	17.6	42.4	29.0	8.1	1.1	0.0
4	65 219	1 073	11 635	27 523	18 978	5 343	649	15	3	100.0	1.6	17.8	42.2	29.1	8.2	1.0	0.0
5	66 268	920	11 255	28 004	19 901	5 424	741	22	1	100.0	1.4	17.0	42.3	30.0	8.2	1.1	0.0
6	69 776	855	11 563	29 321	21 417	5 876	716	25	3	100.0	1.2	16.6	42.0	30.7	8.4	1.0	0.0
7	67 750	793	11 053	28 080	21 277	5 760	768	18	1	100.0	1.2	16.3	41.4	31.4	8.5	1.1	0.0
8	68 695	711	10 404	28 773	21 883	6 181	723	19	1	100.0	1.0	15.1	41.9	31.9	9.0	1.1	0.0
9	67 585	802	9 557	28 277	21 959	6 210	756	24	-	100.0	1.2	14.1	41.8	32.5	9.2	1.1	0.0
10	67 144	817	8 921	27 643	22 429	6 566	749	19	-	100.0	1.2	13.3	41.2	33.4	9.8	1.1	0.0
11	65 711	784	8 207	26 604	22 606	6 745	739	26	-	100.0	1.2	12.5	40.5	34.4	10.3	1.1	0.0
12	66 376	943	8 130	25 874	23 294	7 285	827	23	-	100.0	1.4	12.2	39.0	35.1	11.0	1.2	0.0
13	65 417	1 014	8 075	24 682	23 462	7 385	776	21	2	100.0	1.6	12.3	37.7	35.9	11.3	1.2	0.0
14	64 762	1 115	7 862	23 433	23 755	7 642	931	23	1	100.0	1.7	12.1	36.2	36.7	11.8	1.4	0.0
15	63 224	1 006	7 272	21 664	24 056	8 183	1 015	27	1	100.0	1.6	11.5	34.3	38.0	12.9	1.6	0.0
16	61 946	916	7 036	19 745	24 371	8 792	1 065	21	-	100.0	1.5	11.4	31.9	39.3	14.2	1.7	0.0
17	59 731	897	6 535	18 382	23 643	9 175	1 069	30	-	100.0	1.5	10.9	30.8	39.6	15.4	1.8	0.1
18	61 201	811	6 526	18 088	24 437	10 116	1 200	23	-	100.0	1.3	10.7	29.6	39.9	16.5	2.0	0.0
19	60 818	797	6 274	17 169	23 819	11 312	1 405	41	1	100.0	1.3	10.3	28.2	39.2	18.6	2.3	0.1
20	60 520	874	6 321	16 856	23 044	11 869	1 518	37	1	100.0	1.4	10.4	27.9	38.1	19.6	2.5	0.1
21	59 725	745	5 694	16 452	22 441	12 634	1 734	24	1	100.0	1.2	9.5	27.5	37.6	21.2	2.9	0.0
22	59 437	684	5 517	16 239	21 681	13 231	2 041	44	-	100.0	1.2	9.3	27.3	36.5	22.3	3.4	0.1
23	58 059	673	5 054	16 002	20 974	13 100	2 212	44	-	100.0	1.2	8.7	27.6	36.1	22.6	3.8	0.1
24	56 943	667	4 762	15 338	20 743	12 926	2 472	35	-	100.0	1.2	8.4	26.9	36.4	22.7	4.3	0.1
25	57 470	626	4 736	14 865	20 822	13 558	2 806	56	1	100.0	1.1	8.2	25.9	36.2	23.6	4.9	0.1
26	55 765	642	4 339	14 246	20 360	13 243	2 868	66	1	100.0	1.2	7.8	25.5	36.5	23.7	5.1	0.1
27	<u>56 078</u>	558	4 335	<u>14 076</u>	20 748	13 201	3 086	73	1	100.0	1.0	7.7	25.1	37.0	23.5	5.5	0.1
28	<u>54 452</u>	501	4 247	<u>13 373</u>	<u>20 356</u>	<u>12 875</u>	3 025	75	-	100.0	0.9	7.8	24.6	37.4	23.6	5.6	0.1
29	<u>53 076</u>	<u>502</u>	<u>4 185</u>	13 259	<u>19 375</u>	12 642	<u>3 041</u>	72	-	100.0	0.9	7.9	25.0	36.5	23.8	5.7	0.1
30	51 241	446	4 014	12 862	18 869	12 024	2 937	89	-	100.0	0.9	7.8	25.1	36.8	23.5	5.7	0.2
R 元	48 298	368	3 657	12 347	17 630	11 518	2 685	93	-	100.0	0.8	7.6	25.6	36.5	23.8	5.6	0.2
2	47 328	311	3 429	12 286	17 616	10 982	2 604	100	-	100.0	0.7	7.2	26.0	37.2	23.2	5.5	0.2

注1：構成割合は、年齢不詳を除く出生数に対するものである。

注2：厚生労働省が過去数値の再集計結果を公表したことにより、平成29年以前の概況とは数値が一致しない箇所がある。